

いのちの躍動と輝く権利

1 養護経験者は長生きしないのではという意味

- 気持ちが安定せず、物事に集中できない
- 突き抜けた喜びを感じられない
- 心が体をむしばむ(恨みのスパイラル・受容/昇華/発展できない)
親子の絆についての断想 (水上勉)
- 長生きしないのでは

2 やまゆり園事件の背景

- 「自己責任」の社会の風潮 (競争原理)
- 「生産性」がなければ、生きる価値がない
- 社会に踊らされた被告 (自己責任論の結末)

3 「輝かないでよい命」などない

- 「身の丈に合った」という身分を肯定する考え方
- 「僕は生れたくはありません」河童 (芥川龍之介)
- 「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」
農民芸術概論綱要 (宮澤賢治) ⇒ **社会制度 > 個人の努力**

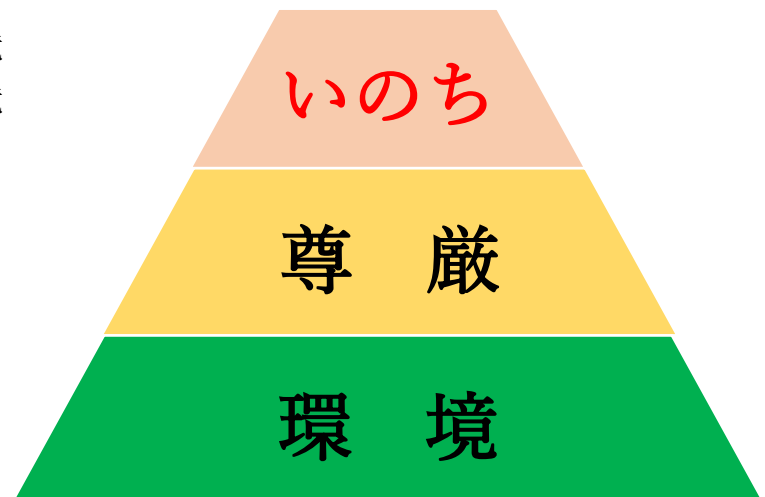
4 出生/出自・予期せぬ障害は、「自己責任」か

- 赤ちゃんに責任を負わせるのか (出生・出自は自己責任か)
- 障がい・難病も自己責任か
- 一発逆転は作られた妄想 ⇒ 命には“いのちの時間”がある
- 公正な社会の提示 (大人の責任)

5 「平成28年熊本地震」で見えてきたもの (災害時の優先順位)

環境

- いのちの環境
- こころの環境
- 経済の環境
- 社会の環境
- 地球の環境



「輝かないでよい命」などない



2020年（令和2年）
NPO法人だれにも音楽祭